

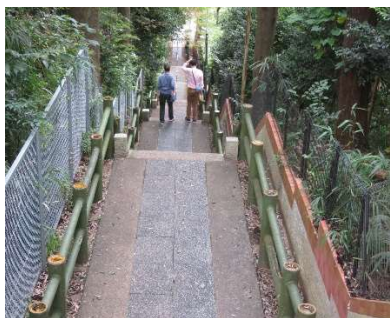
月読神社(つくよみじんじゃ) 神奈川県川崎市麻生区上麻生 7-38-4

ご祭神は「神月夜見尊・つくよみのみこと」です。この神様は「闇に光を届け人々を導く神様」です。月読神社の創建年代等は不詳ながら、天文3年(1534)亀井城の卯の方にあたる地に皇太神宮の別宮として創建、上麻生村・下麻生村の鎮守社だったといえます。大正7年上麻生の熊野神社、下麻生の日枝社、山口谷の白山社を合祀、供進村社に指定されたといえます。ご祭神の神月夜見尊(つくよみのみこと)はイザナミノミコトの右目を洗った際に生み成され守備範囲は月と「夜と国」で、天照大神は太陽、須佐之男(すさのう)は海原が守備範囲となり(三貴子(みはしらのうずのみこ、さんぎし)と呼ばれています。

御祭神：神月夜見尊(つくよみのみこと)

配祀神：大日靈真尊(おおひるめむちのみこと) 白山媛命 猿田彦命

(境内案内版)



長い階段の参道



鳥居を潜ると狛犬が迎える



本殿の左には枯れた神楽殿



本殿



伏殿(熊野社)

⇒



扉を開けて



伏殿(日枝社)

⇒



扉を開けて